



News Release

2020年10月22日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北海道支所

誤った使い方で大けがを負うことも ～はしご・脚立の事故に注意～

1. 事故の発生状況

2010年度から2019年度の10年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}のうち、はしご・脚立の事故は、北海道で合計17件^{※2}ありました。

(1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2015～2019年度）

発生年度	合計
2010年度	2
2011年度	1
2012年度	4
2013年度	4
2014年度	1
2015年度	1
2016年度	0
2017年度	1
2018年度	0
2019年度	3
合 計	17

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表 2 に示します。

表 2 被害状況別事故発生件数（2010～2019 年度）※³

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	7
	軽傷	8
物的被害	拡大被害	0
	製品破損	2
被害なし		0
合 計		17

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事事故事例

(1) はしご

○2012 年 12 月（北海道、60 歳代・男性、使用期間約 1 か月、軽傷）

事故内容：屋根にはしごを立て掛けて作業中、後方へ転落し、打撲などの軽傷を負った。

事故原因：使用者が、雪路面上に不適切な立て掛け角度で設置し、補助者がいない状態で使用したため、はしごが後方へ滑り、転落したものと推定される。

なお、本体には、「立て掛け角度は約 75 度にする」、「補助者が支える」、「安定しない場所、滑りやすい場所に設置しない」旨、記載されている。

(2) はしご兼用脚立

○2013 年 9 月（北海道、60 歳代・男性、使用期間約 5 年、軽傷）

事故内容：脚立状態のはしご兼用脚立から降りようとした際に転倒し、軽傷を負った。

事故原因：使用者が、傾斜している場所で脚立を使用していたことにより、バランスを崩して脚立の支柱上に転倒したものと推定される。

なお、本体には、「傾斜している場所、安定しない場所や滑りやすい場所には設置しない」旨、記載されている。

(3) 脚立

○2014年8月（北海道、60歳代・男性、使用期間約1か月、重傷）

事故内容：脚立の天板にまたがって作業していたところ、落下して、右肩を骨折した。

事故原因：使用者が脚立の天板にまたがって作業中に、バランスを崩し、倒れた脚立の上に落下したものと推定される。

なお、取扱説明書及び本体には、「天板の上にまたがることを禁止する」旨、記載されている。

3. はしご・脚立の事故を防ぐポイント

- ①傾斜のある場所や滑りやすい場所で使用しない。
- ②はしごで作業する際は、必ず補助者がしっかり支える。
- ③脚立の天板をまたいで使用しない。
- ④はしごの立て掛け角度に注意する。

4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 鈴木、下川

電話: 011-709-2324